



* 阿南高専

第127号
令和7年3月

図書館便り *



【図書館長あいさつ】

図書館長 松尾 俊寛 (一般教養)

阿南高専の図書館は蔵書が約7万冊、といってもそんなに大きな図書館ではありません。その気になれば、どの書架にどんな本があるのか、だいたい把握できる程度にコンパクトな施設です。しかし、そこはさすが高専の図書館。蔵書の内容はとんがっています。毎年各コース・一般教養の先生方からそれぞれの専門分野を反映した書籍が何冊も推薦されます。また、学生からのリクエストやブックハンティングで選書した書物なども入ってきます。それらが毎年蓄積されて阿南高専独自の書籍群を形成しているのです。皆さん地元の図書館に行く機会があれば、試しに自分の専門分野の本を探してみてください。そこで目にする本の風景と比べていかに阿南高専の図書館がマニアックな感じることでしょう。

【教員推薦図書】

各教科の先生方にお薦めの図書を紹介していただきました。

『大学図書館司書が教える』

A I時代の調べ方の教科書』

小川 仁志・萱野 稔人 著



インターネットによる情報収集は実に便利です。明日の天気、電車の乗り換え方法をはじめ、初めて訪れた町のおいしいご飯屋さんの情報だっすぐに調べることができます。知らない分野のことも、検索エンジンにキーワードを入力するだけで、膨大な量の情報にアクセスすることができますし、最近では生成 AI が概要を提示してくれることもあります。でも、その情報って本当に「正しい」情報なのでしょう。

ネットがあれば何でも分かる(ように思える)時代だからこそ、情報収集のスキルや情報リテラシーの基礎を知ることが大切です。「どんな情報を集めるのか?」「どの情報源から情報を集めるのか?」「集めた情報は質の高い情報か?」「集めた情報を使って、どうアウトプットするのか?」、自分自身で判断しなければならぬことたくさんあります。本書は情報収集と情報リテラシーに関する基礎的なスキルを、短く簡潔な文と図解によって分かりやすく教えてくれる一冊です。

一般教養 藤原 みずき 教員

『土 地球最後のナゾ』

藤井 一至 著



私は「土」という身近な存在が、実は奥深い科学の世界を秘めていることを、この本を読んで知りました。この本は、土の12種類の分類や、岩石と有機物の融合という土の起源、さらには砂との違いまで、明快かつユーモアを交えて解説してくれます。しかし、この本は単なる土の科学的解説にとどまりません。著者の農学博士としての視点から、100億人の人類を養う未来の農業に適した土壌の探求へと話が展開していきます。水分と栄養素の保持能力を持つ理想的な土壌の希少性や、土壌改良の可能性について語る著者の熱意に、読者は引き込まれていきます。さらに、この本は土壌の重要性を地球規模で考えさせてくれます。世界各地の土壌を探訪する著者と共に旅をするような感覚で、読者は土壌が水資源と同様に人類の平和な共存に不可欠であることを実感します。この本を読み終えた後、あなたは身の回りの土を見る目が変わり、地球の未来について新たな視点を得ることができるでしょう。

機械コース 奥本 良博 教員

『ニューヨークの女性の「強く美しく」生きる方法』

エリカ著

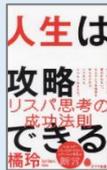


皆さんはついつい周りの人と自分を比べて、羨ましく思ったり、落ち込んでしまったりしてしまうことってありませんか? 「勉強ができて羨ましい…」、「コミュ力高くていいなあ…」と、理想を追い求めるとキリがありません。この本では、世界一成功することが難しいと言われるニューヨークで、女性たちが、自分らしさを大切にし、パワフルに人生を楽しむ秘訣が紹介されています。この本を読み終わるころには、ご自身の魅力に気づき、少しだけでも愛おしく感じるようになると思います。老若男女問わず、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

電気コース 後藤 祐美 教員

『人生は攻略できる』

橘 玲著



阿南高専生のみなさんは「勉強ができる人」としてこれまでの人生を歩んできた方が多いと思います。では、みなさんは何のために勉強をしているのでしょうか? おそらく、「幸せになるため」だと思います。しかし、幸せとは何でしょうか? 自分の言葉で説明できる人は意外と多くないかもしれません。

本書は、「幸せ」を「理学的」に定義して人生戦略を考える本です。著者によれば、幸せを支える要素は①金融資本(お金)、②人的資本(スキルや能力)、③社会資本(人との繋がり)の3つです。宝くじに当たった人は大金を手に入れます(①がカンストする)が、仕事や勉強をやめてしまったり(②を失う)、人間関係が変わって孤立してしまうこともある(③を失う)ので、必ずしも幸せとは限らないのです。

もちろん、何が幸せかは自分で決めることです。しかし、「幸せ」を体系的く理的に定義する考え方の一つとして、本書は参考になるでしょう。

情報コース 太田 健吾 教員

『環境経済学 『沈黙の春』から気候変動まで』

スティーン・スミス著



皆さんは、2024年度より徴収されている「森林環境税」というワードを聞いたことがあるでしょうか? この税は、森林整備やその促進等に充てることを目的に、国民1人あたり年額1,000円を徴収するというものです。森林保護に限らず環境保護・改善のためには、環境政策の策定とそれを実行するための資金が必要です。ではどのような考えのもと政策や資金源となる税金の徴収額が決まっているのでしょうか? この本は、経済学の観点から環境政策の枠組みを整理した一冊で、環境経済学の観点から政策に用いられる重要な要素(規制アプローチ、環境の費用計算など)についてまとめられています。少し難しい内容ですが、国内外の事例を挙げながら丁寧に説明をしてくれています。環境政策について、 $\pm\alpha$ の知識を身に付けたい人におすすめです。

建設コース 景政 柊蘭 教員

『ギリシャ・ローマ古典文学案内』

高津 春繁/斎藤 忍随 著



西洋の文学作品の根底には、ギリシャの古典文学の流れがある。本書は2人の著者により前半にギリシャ・ローマの文学を、後半にギリシャ・ローマの哲学を、わずか二百頁に凝縮したものである。前半で面白い部分は、ホメロスの叙事詩などに何故枕詞が多いかが述べてある部分と、悲劇作品などを著者独自の観点で辛辣に批評している部分である。一方、後半はエンペドクレスからアウレリウスまでを概観しているが、アリストテレスの項が最も興味深い。「アリストテレスも沢山の文語語彙を執筆し、(中略)その散文は『黄金の流れ』と絶賛されていた」ものか何故、現在は殆ど散逸し、「メタフィシカ」のような著作が残ったかが記されている。ニーチェによると「学術的文学は芸術的文学を駆逐する」そうである。

本書は哲学書ではなく案内書である。古い本であるが、今はインターネットで中古本が簡単に手に入る良い時代になった。気軽に読めるので、一読してみたい。

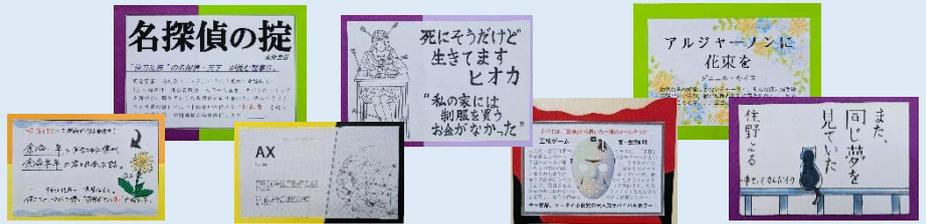
化学コース 中村 厚信 教員

【学生図書委員会の活動】

*企画展示「学生図書委員のおすすめ本」



図書委員の皆さんに、おすすめの本を紹介してもらいました。素敵なポップを描いてもらいました。一部を紹介します。



*ブックハンティング

10月19日(土)に紀伊國屋書店(アミコ徳島店内)にて、ブックハンティングを行いました。短い時間でしたが、たくさんの本を選んでくれました。

～ブックハンティングに参加して～



1-1 町田 雪笑 さん

今回のブックハンティングは、私にとって初めてのことでした。本を選んでいたら直ぐに予算を超えるかと思っていました。しかし、想像以上にたくさん本を選ぶことができ、驚きました。一度にあんなに本を選ぶ機会が無かったので、新鮮で楽しかったです。

選書された図書のなかから、オススメしたい本のポップを描いてもらいました。

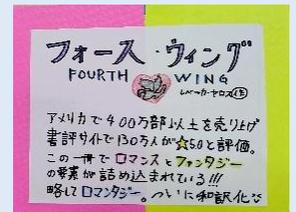


『妖怪の子預かります』
1-1 町田 雪笑 さん
ブックハンティングコーナー
913.6/H73

3M 一柳 里奈 さん

気になっていた本を自分で選んで図書館で読めるようになるということに感動しました。また、本屋で普段探索しないエリアにも足を伸ばしてみたので、自分の世界が広がったような気がします。本との思わぬ出会いがたくさんあってとても楽しかったです。

『フォース・ウィング』
3M 一柳 里奈 さん
ブックハンティングコーナー
933.7/Y59



4M 今井 美嘉 さん

今回、初めてブックハンティングに参加しました。本を探る中で、名前は聞いたことある有名な話だけれど読んでことがない本や人気小説家の最新刊など様々なジャンルの本に出会うことができました。それらの本はすでに図書館で貸出できるので、これからの新しい本との出会いが楽しみです。

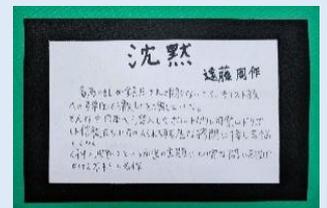


『カエルの楽園2020』
4M 今井 美嘉 さん
ブックハンティングコーナー
913.6/H99

4E 記本 航希 さん

ブックハンティングに参加してみて、普段は気にしていなかったジャンルの本などに興味を持つ良いきっかけとなりました。自分の気になっていた本だけでなく阿南高専生の皆さんに読んでほしい本や学習に役立つ本を選んだつもりなので自分や他の学生さんに読んでもらうのが楽しみです。

『沈黙』
4E 記本 航希 さん
ブックハンティングコーナー
913.6/E59



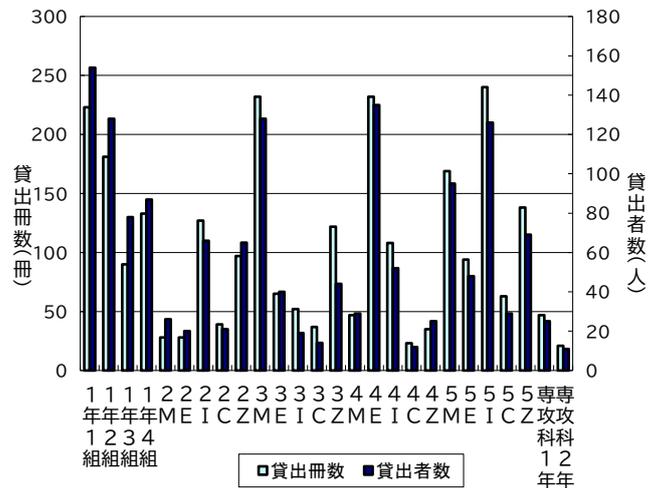
【クラス別図書貸出状況】

2024年度4月～12月のクラス別貸出状況です。貸出の一番多かったクラスは250冊以上ありました。貸出図書の傾向としては小説が多く、『変な絵』（雨穴著,2022）が最も多く貸出されました。資格試験コーナーでは、『公式 TOEIC listening & reading 問題集 8』（ETS 著,2021）が1番人気でした。

図書だけでなく雑誌やDVDも充実しているので、勉強の息抜きに立ち寄ってみてください。新しい発見や出会いがあるかもしれません！

今年度図書館を利用しなかった学生さんも、来年度はぜひ利用してみてください!! 図書館のお知らせは随時manabaに掲載しています。

クラス別年間利用状況(2024.4月-12月)



【企画展示コーナー】



図書館では、毎月テーマを変えて企画展示を行っています。

4月の企画展示は2023年度のそれぞれの月で貸出ランキングNo.1の本を展示しました。小説が多いかと予想していましたが、専門書や時事図書など幅広いジャンルが読まれていました。

今後の展示もぜひ楽しみに!!

【図書館職員からの推薦図書】



『本を読んだことがない32歳が初めて本を読む』

かまど/みくのしん 著

こちらはブックハンティングで学生さんが選んでくれた図書です。タイトルに惹かれて読んでみると、ただ面白いだけじゃないのがこの本の醍醐味です。タイトルの通り、32年間、一度も自分の意志で本を読んだことのない人が、本を読む様子を一緒に見てみるという内容です。会話形式で話が進んでいくので、読み進めやすい作品です。私はこの本を読んで、本を読むということは、何かに縛られるものでもなく、誰かの目を気にすることなく、ただ自由に感じ、自由に考えていいものだと思改めて気づかされました。本を読むことが苦手だと思っている人や、文章を読む行為を億劫に感じている人は是非一度、手に取ってみてはどうでしょうか。共感すること、驚くこと、またなにより笑い溢れる内容が盛りだくさんです。

ブックハンティングコーナー 019.04||Ka31

【図書館からのお知らせ】

開館時間

●平日 9時～19時 (休業期間中は、9時～17時)

●土曜日 11時～17時 (休業期間中は、休館)

●日曜日・祝日 休館

★図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。

貸出を希望される場合は、身分証明書(運転免許証など)をご持参ください。

貸出冊数 5冊まで (休業期間中は、10冊まで)

貸出期間 15日間 (休業期間中は、延長)

★館内資料の文献複写(著作権法の範囲内での有料複写)や、DVDコーナーもご利用いただけます。

★詳しくは図書館までお問い合わせください。

TEL 0884-23-7106 E-mail tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、図書館開館カレンダーなどご利用いただけます。

URL <https://www.anan-nct.ac.jp/facility/library/>

投書箱

図書館では、学生のみなさんのリクエストを受け付けています。

読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、閲覧室カウンターの投書箱へ投函してください。